

中小企業動向調査（2021年12月末日基準）

この調査は、富山県内企業373社からのアンケート結果をまとめたものです。
 企業の調査資料として、2021年10月～12月の実績、2022年1月～3月の見込み、2022年4月～6月の先行き見通しを集約した概要です。なお、季節調整は行っていません。

回答企業数（調査企業数）
373（660）
うち、製造業60社、非製造業313社

調査時期：2022年1月上旬

方法：インターネットによる当行取引先へのアンケート実施

日本銀行富山事務所が2022年2月に公表した「富山県金融経済クォーターリー2021年冬」によると、「富山県の景気は、持ち直しの動きが一服している。～（抜粋）当地製造業の生産は、持ち直しの動きが一服している。業種別にみると、汎用・生産用・業務用機械は増加している。電気機械は、足踏み状態となっている。医薬品を中心とする化学は、横ばい圏内の動きとなっている。金属製品は、低水準で横ばい圏内の動きとなっている。」とあります。今回実施したアンケートにおいても同様の動きが見られ業況は一部回復している傾向がありますが、足元では原材料高による仕入れへの影響や利益への影響などの増加、新型コロナウイルス感染状況の拡大もあり2022年1月以降の予想については厳しい数値となっています。

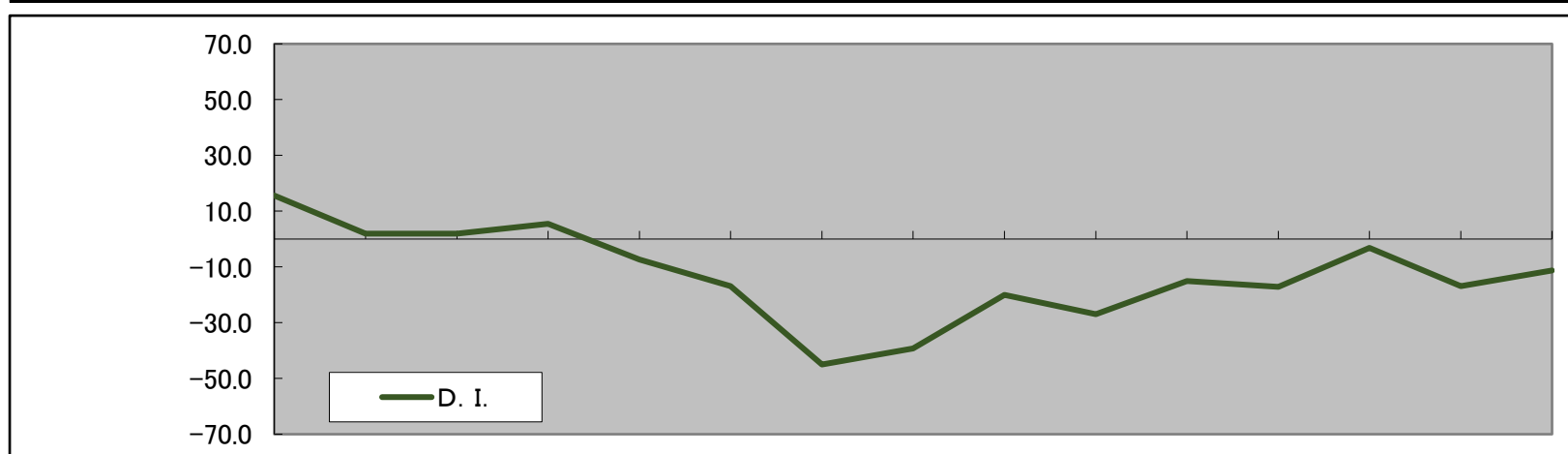
I. 企業業況

企業業況の推移……（全産業）

（%）

見込 予測

種別	期別	2018				2019				2020				2021				2022	
		10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月			
良	い	23.8	19.3	21.3	22.7	14.8	15.0	9.1	11.8	16.8	14.1	17.3	15.4	22.0	14.7	12.1			
普	通	68.0	63.2	59.2	59.9	63.1	53.1	36.8	37.1	46.4	44.8	50.4	52.1	52.8	53.6	64.6			
悪	い	8.2	17.5	19.4	17.4	22.1	31.9	54.1	51.1	36.8	41.1	32.4	32.5	25.2	31.6	23.3			
D .	I .	15.6	1.9	1.9	5.4	-7.4	-16.9	-45.0	-39.2	-20.0	-27.0	-15.1	-17.1	-3.2	-16.9	-11.3			



- (1) 富山県内の中小企業の業況を全産業で見みると、業況判断指数D.I. 「良い-悪い」は、今回調査の10-12月期ではマイナス3.2となり、前回比で13.9ポイント改善しました。先行きについては、1-3月はマイナス16.9と大幅に悪化する予想です。

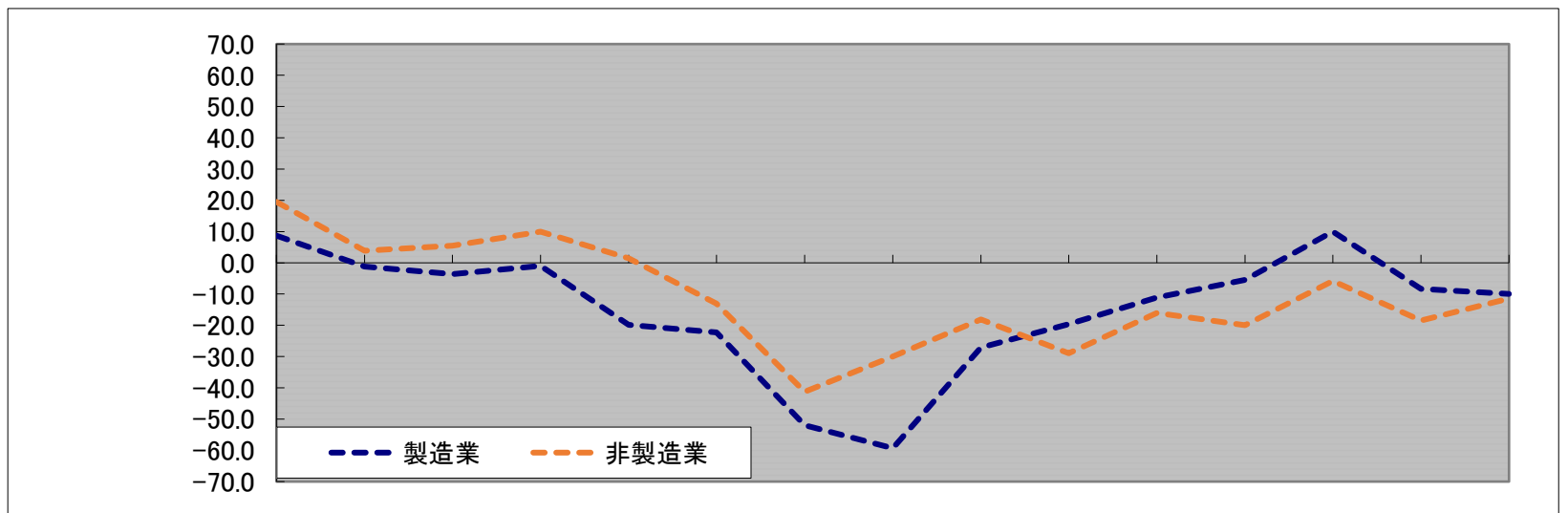
I. 企業業況（続き）

企業業況の推移……（うち製造業のみ）

		(%)												見込	予測	
		2018	2019				2020				2021				2022	
		10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
良	い	19.6	16.7	21.4	22.5	11.9	13.9	7.8	8.5	20.3	17.6	20.4	23.6	36.7	25.0	20.0
普	通	69.6	65.5	53.6	53.9	56.4	50.0	32.5	23.7	32.2	45.1	48.1	47.3	36.7	41.7	50.0
悪	い	10.9	17.9	25.0	23.5	31.7	36.1	59.7	67.8	47.5	37.3	31.5	29.1	26.7	33.3	30.0
D .	I .	8.7	-1.2	-3.6	-1.0	-19.8	-22.2	-51.9	-59.3	-27.1	-19.6	-11.1	-5.5	10.0	-8.3	-10.0

企業業況の推移……（うち非製造業のみ）

		(%)												見込	予測	
		2018	2019				2020				2021				2022	2022
		10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
良	い	26.2	21.1	21.3	22.9	16.8	15.8	9.8	13.4	15.8	13.2	16.5	13.3	19.2	12.8	10.5
普	通	67.1	61.7	63.0	64.3	67.8	55.5	39.2	43.3	50.2	44.7	50.9	53.3	55.9	55.9	67.4
悪	い	6.7	17.2	15.7	12.9	15.4	28.8	51.0	43.3	33.9	42.1	32.6	33.3	24.9	31.3	22.0
D .	I .	19.5	3.9	5.5	10.0	1.4	-13.0	-41.3	-29.9	-18.1	-28.9	-16.1	-20.0	-5.8	-18.5	-11.5



- (2) 製造業と非製造業に分けてみると、製造業は業況判断指数D. I. は 10.0と3年ぶりにプラスとなりました。非製造業でもマイナス5.8と新型コロナウイルスの感染拡大が始まって以来、最もマイナス幅が小さくなりました。しかし、オミクロン株の流行、原材料高を背景に製造業・非製造業とも2022年1月以降は悪化予想です。

II. 売上高状況

売上高状況の推移……（全産業）

(%)

見込 予測

	2018	2019				2020				2021				2022	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
増加	25.3	21.1	25.6	25.8	18.6	15.3	10.0	14.0	20.0	17.7	24.6	20.0	28.4	15.3	15.0
横ばい	61.5	56.3	52.1	56.7	52.5	49.4	29.5	29.0	36.8	38.7	46.0	47.5	45.3	54.4	62.7
減少	13.2	22.5	22.3	17.5	28.9	35.3	60.5	57.0	43.2	43.5	29.4	32.5	26.3	30.3	22.3
D . I .	12.1	-1.4	3.3	8.3	-10.3	-20.0	-50.5	-43.0	-23.2	-25.8	-4.8	-12.5	2.1	-15.0	-7.2

売上高状況の推移……（うち製造業のみ）

(%)

見込 予測

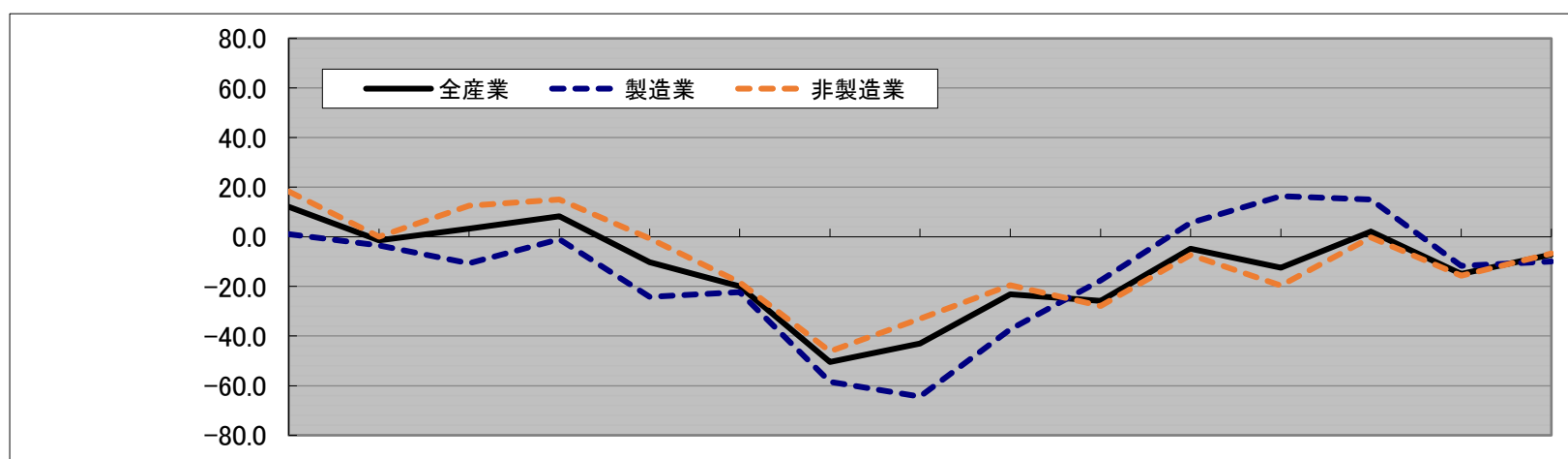
	2018	2019				2020				2021				2022	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
増加	18.3	17.6	21.4	22.8	16.2	16.7	7.8	5.1	15.3	23.5	29.6	30.9	40.0	23.3	20.0
横ばい	64.5	61.2	46.4	53.5	43.4	44.4	26.0	25.4	32.2	35.3	46.3	54.5	35.0	41.7	50.0
減少	17.2	21.2	32.1	23.8	40.4	38.9	66.2	69.5	52.5	41.2	24.1	14.5	25.0	35.0	30.0
D . I .	1.1	-3.5	-10.7	-1.0	-24.2	-22.2	-58.4	-64.4	-37.3	-17.6	5.6	16.4	15.0	-11.7	-10.0

売上高状況の推移……（うち非製造業のみ）

(%)

見込 予測

	2018	2019				2020				2021				2022	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
増加	29.3	23.4	28.3	28.1	20.3	14.3	11.2	18.1	21.3	16.2	23.4	17.3	26.2	13.7	14.1
横ばい	59.8	53.1	55.9	59.0	58.7	53.1	31.5	30.7	38.0	39.6	45.9	45.8	47.3	56.9	65.2
減少	11.0	23.4	15.7	12.9	21.0	32.7	57.3	51.2	40.7	44.2	30.7	36.9	26.5	29.4	20.8
D . I .	18.3	0.0	12.6	15.1	-0.7	-18.4	-46.2	-33.1	-19.5	-27.9	-7.3	-19.6	-0.3	-15.7	-6.7



- (1) 売上高D. I. は全産業では2.1となり、前回比14.6ポイント改善しました。プラスに転じたのは2019年7-9月期以来です。製造業と非製造業に分けてみると、製造業では15.0と前回と同様プラスとなっています。非製造業でもマイナス0.3と前回比19.3ポイント改善しました。先行きについては、全産業において1-3月にマイナス15.0と悪化予想です。

Ⅲ. 製品在庫水準

製品在庫水準の推移…… (全産業)

(%)

見込 予測

	2018	2019				2020				2021				2022	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
不足	3.5	2.6	2.6	3.5	2.8	3.1	9.1	7.5	7.9	8.5	10.3	12.1	12.3	12.6	12.9
適正	91.3	89.5	89.7	90.7	88.1	88.1	80.9	81.2	86.1	84.3	83.5	82.1	84.2	82.3	83.6
過剰	5.2	7.9	7.7	5.7	9.2	8.8	10.0	11.3	6.1	7.3	6.3	5.7	3.5	5.1	3.5
D . I .	-1.7	-5.3	-5.1	-2.2	-6.4	-5.8	-0.9	-3.8	1.8	1.2	4.0	6.4	8.8	7.5	9.4

製品在庫水準の推移…… (うち製造業のみ)

(%)

見込 予測

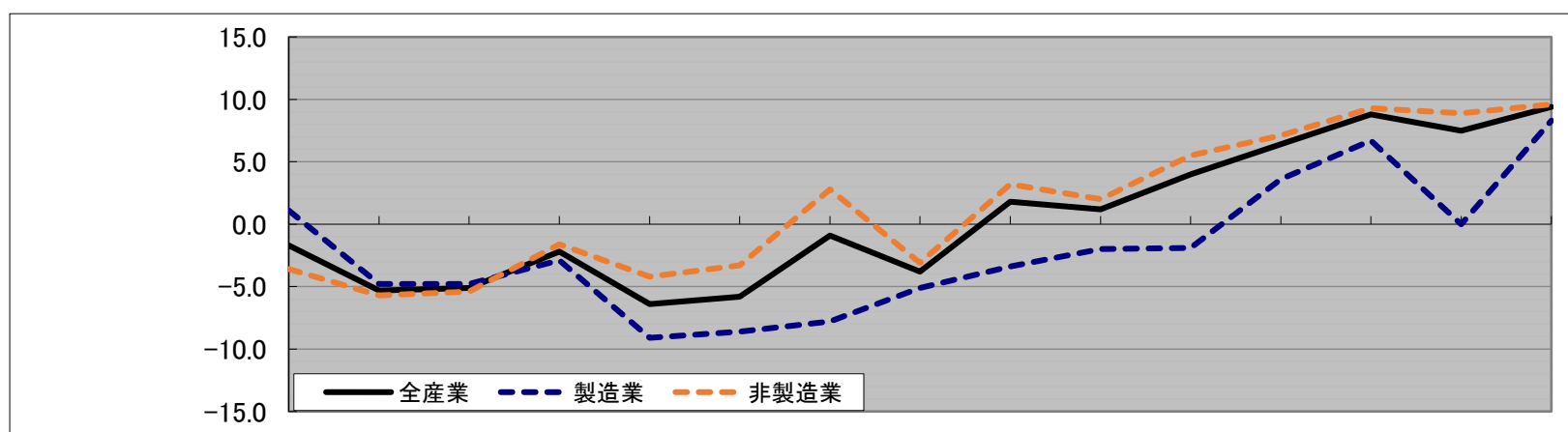
	2018	2019				2020				2021				2022	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
不足	5.4	4.8	3.6	4.9	3.0	1.9	5.2	5.1	5.1	7.8	7.4	12.7	10.0	8.3	11.7
適正	90.2	85.7	88.1	87.3	84.8	87.6	81.8	84.7	86.4	82.4	83.3	78.2	86.7	83.3	85.0
過剰	4.3	9.5	8.3	7.8	12.1	10.5	13.0	10.2	8.5	9.8	9.3	9.1	3.3	8.3	3.3
D . I .	1.1	-4.8	-4.8	-2.9	-9.1	-8.6	-7.8	-5.1	-3.4	-2.0	-1.9	3.6	6.7	0.0	8.3

製品在庫水準の推移…… (うち非製造業のみ)

(%)

見込 予測

	2018	2019				2020				2021				2022	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
不足	2.2	0.9	1.8	2.4	2.5	4.1	11.2	8.7	8.6	8.6	11.0	12.0	12.8	13.4	13.1
適正	92.0	92.5	91.0	93.6	90.8	88.4	80.4	79.5	86.0	84.8	83.5	83.1	83.7	82.1	83.4
過剰	5.8	6.6	7.2	4.0	6.7	7.4	8.4	11.8	5.4	6.6	5.5	4.9	3.5	4.5	3.5
D . I .	-3.6	-5.7	-5.4	-1.6	-4.2	-3.3	2.8	-3.1	3.2	2.0	5.5	7.1	9.3	8.9	9.6



- (1) 10-12月の製品在庫水準D. I. はプラス8.8と在庫不足の状況が続いています。2020年10-12月より上昇傾向が続いており、在庫不足の状況が拡大しています。

IV. 資金繰状況

資金繰状況の推移……（全産業）

(%)

見込 予測

	2018		2019				2020				2021				2022	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
ゆるい	16.0	12.2	13.3	10.7	11.5	8.3	14.1	15.1	13.2	13.3	14.0	16.8	13.4	12.1	11.0	
普通	75.5	76.5	78.2	81.8	76.6	81.5	66.4	64.5	70.4	67.3	68.8	66.8	70.8	70.2	72.1	
厳しい	8.6	11.3	8.5	7.4	11.9	10.2	19.5	20.4	16.4	19.4	17.3	16.4	15.8	17.7	16.9	
D . I .	7.4	0.9	4.7	3.3	-0.4	-2.0	-5.5	-5.4	-3.2	-6.0	-3.3	0.4	-2.4	-5.6	-5.9	

資金繰状況の推移……（うち製造業のみ）

(%)

見込 予測

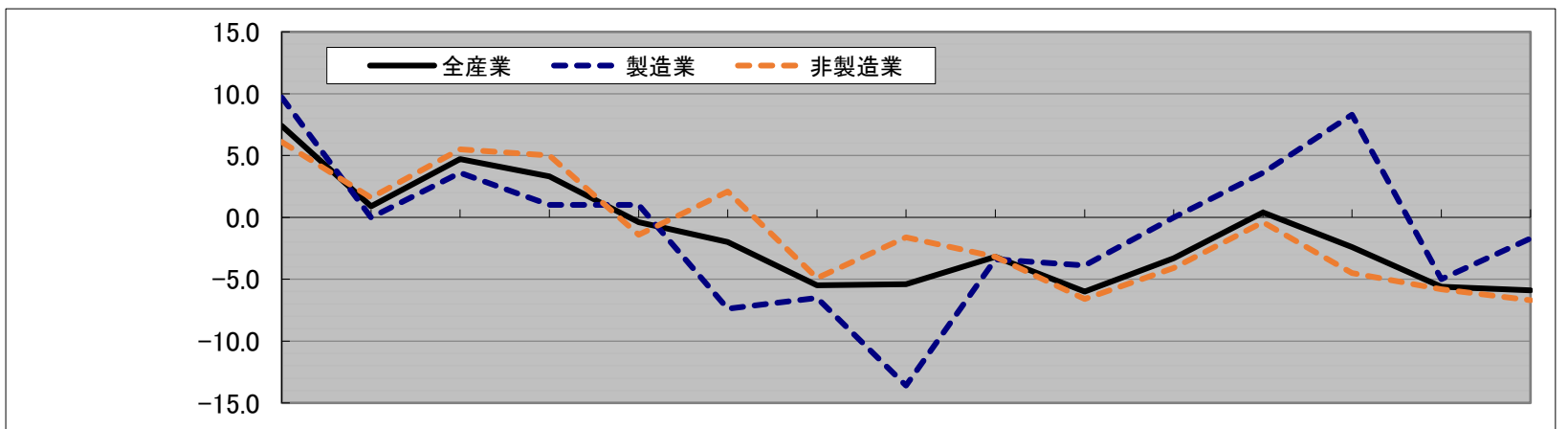
	2018		2019				2020				2021				2022	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
ゆるい	18.3	10.6	13.1	11.8	13.9	7.4	15.6	6.8	15.3	11.8	14.8	18.2	20.0	13.3	13.3	
普通	73.1	78.8	77.4	77.5	73.3	77.8	62.3	72.9	66.1	72.5	70.4	67.3	68.3	68.3	71.7	
厳しい	8.6	10.6	9.5	10.8	12.9	14.8	22.1	20.3	18.6	15.7	14.8	14.5	11.7	18.3	15.0	
D . I .	9.7	0.0	3.6	1.0	1.0	-7.4	-6.5	-13.6	-3.4	-3.9	0.0	3.6	8.3	-5.0	-1.7	

資金繰状況の推移……（うち非製造業のみ）

(%)

見込 予測

	2018		2019				2020				2021				2022	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
ゆるい	14.6	13.3	13.4	10.0	9.8	8.9	13.3	18.9	12.7	13.7	13.8	16.4	12.1	11.8	10.5	
普通	76.8	75.0	78.7	85.0	79.0	84.2	68.5	60.6	71.5	66.0	68.3	66.7	71.2	70.6	72.2	
厳しい	8.5	11.7	7.9	5.0	11.2	6.8	18.2	20.5	15.8	20.3	17.9	16.9	16.6	17.6	17.3	
D . I .	6.1	1.6	5.5	5.0	-1.4	2.1	-4.9	-1.6	-3.2	-6.6	-4.1	-0.4	-4.5	-5.8	-6.7	



- (1) 10-12月の資金繰状況は全産業で前环比2.8ポイント悪化しています。製造業では8.3となり4.7ポイント改善、非製造業ではマイナス4.5と4.1ポイント悪化しました。1-3月、4-6月についても悪化を予想しており、厳しい状況が続きます。

V. 利益状況

利益状況の推移…… (全産業)

(%)

見込 予測

	2018	2019				2020				2021				2022	
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月
黒字	57.5	46.9	50.5	48.3	45.9	43.1	33.6	33.9	44.6	31.5	34.2	38.6	42.9	31.9	33.2
収支トントン	35.4	41.2	32.9	37.2	40.1	32.8	28.6	31.7	27.9	33.1	34.9	31.4	33.2	42.6	48.8
償却後赤字	7.1	11.8	16.7	14.5	14.0	24.1	37.7	34.4	27.5	35.5	30.9	30.0	23.9	25.5	18.0
D . I .	50.4	35.1	33.8	33.9	31.8	19.0	-4.1	-0.5	17.1	-4.0	3.3	8.6	19.0	6.4	15.3

利益状況の推移…… (うち製造業のみ)

(%)

見込 予測

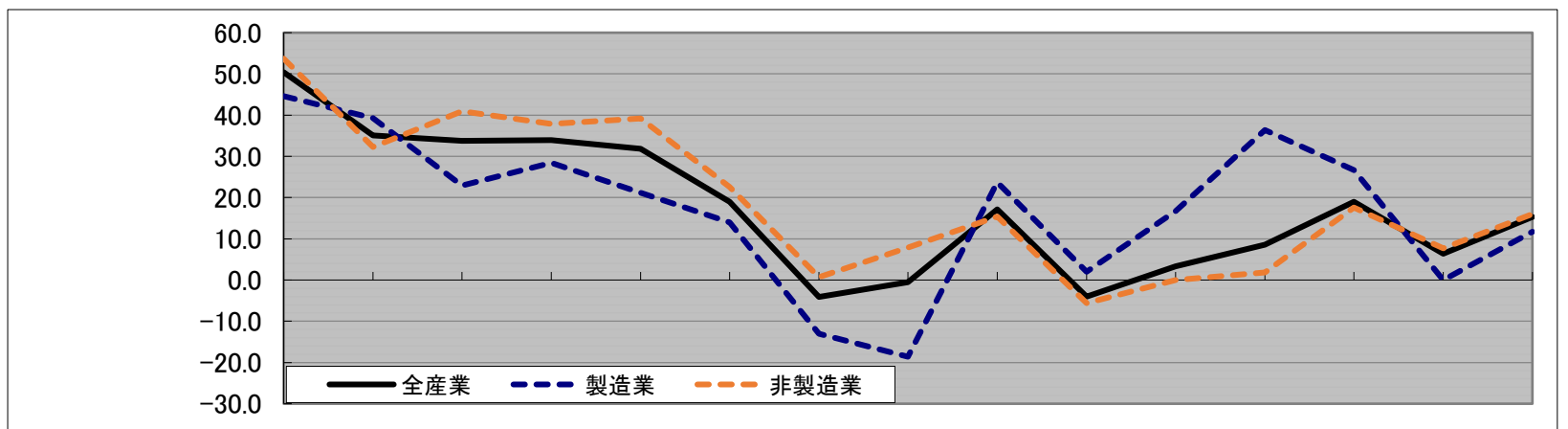
	2018	2019				2020				2021				2022	
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月
黒字	54.3	50.0	44.6	46.1	38.4	44.9	32.5	25.4	54.2	39.2	42.6	54.5	55.0	30.0	31.7
収支トントン	35.9	39.3	33.7	36.3	44.4	24.3	22.1	30.5	15.3	23.5	31.5	27.3	16.7	40.0	48.3
償却後赤字	9.8	10.7	21.7	17.6	17.2	30.8	45.5	44.1	30.5	37.3	25.9	18.2	28.3	30.0	20.0
D . I .	44.6	39.3	22.9	28.4	21.2	14.0	-13.0	-18.6	23.7	2.0	16.7	36.4	26.7	0.0	11.7

利益状況の推移…… (うち非製造業のみ)

(%)

見込 予測

	2018	2019				2020				2021				2022	
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月
黒字	59.3	44.9	54.3	50.0	51.0	41.8	34.3	37.8	42.1	29.4	32.1	34.7	40.6	32.3	33.5
収支トントン	35.2	42.5	32.3	37.9	37.1	39.0	32.2	32.3	31.2	35.5	35.8	32.4	36.4	43.1	48.9
償却後赤字	5.6	12.6	13.4	12.1	11.9	19.2	33.6	29.9	26.7	35.0	32.1	32.9	23.0	24.6	17.6
D . I .	53.7	32.3	40.9	37.9	39.2	22.6	0.7	7.9	15.4	-5.6	0.0	1.8	17.6	7.7	16.0

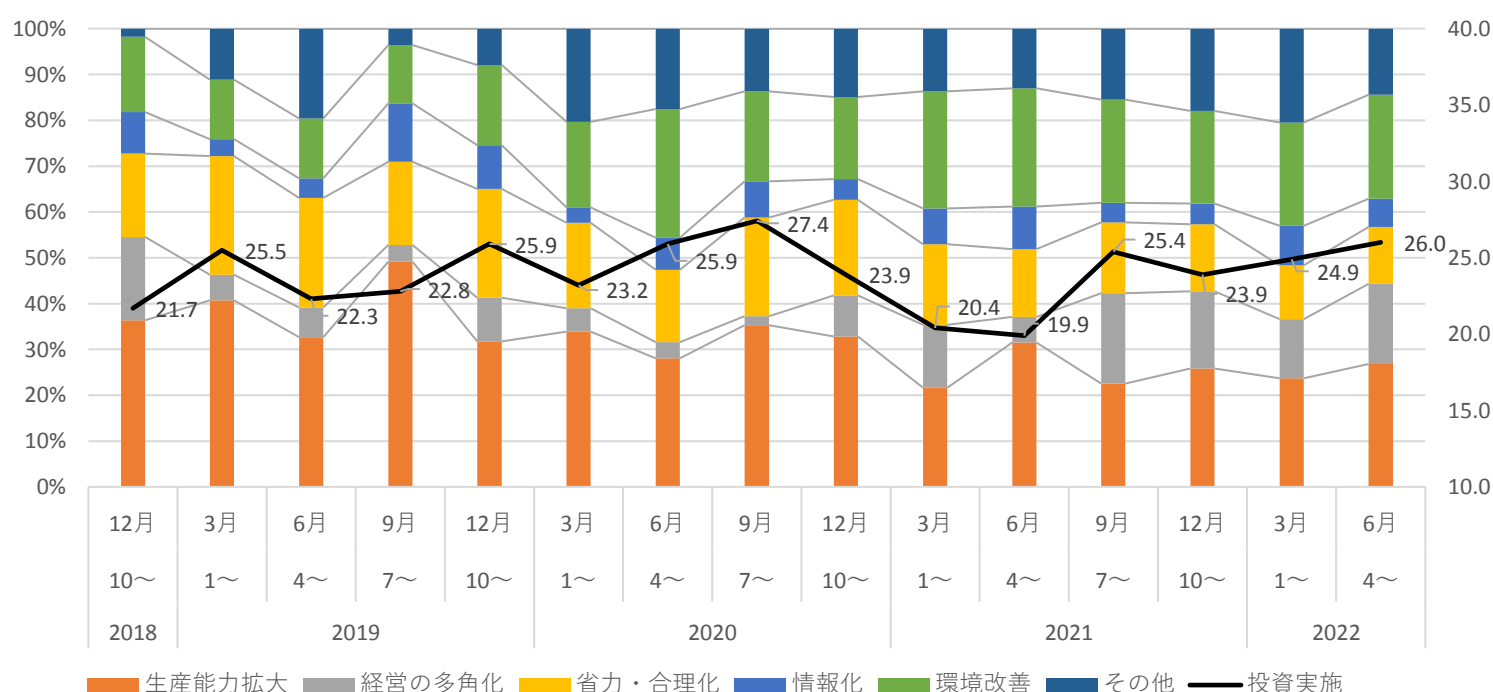


- (1) 全産業の10-12月の利益状況D. I. は19.0と前回は10.4ポイント改善しました。製造業は26.7と前回は9.7ポイント悪化、非製造業は17.6と前回は15.8ポイント改善しています。しかし、2022年1月-3月は全産業とも悪化見込です。

VI. 設備投資動向

	2018														見込		予測			
	2018					2019					2020				2021				2022	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	1~3月	4~6月			
投資実施	21.7	25.5	22.3	22.8	25.9	23.2	25.9	27.4	23.9	20.4	19.9	25.4	23.9	24.9	26.0					
投資せず	78.3	74.5	77.7	77.2	74.1	76.8	74.1	72.6	76.1	79.4	80.1	74.6	76.1	75.1	74.0					

	2018														見込		予測			
	2018					2019					2020				2021				2022	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	1~3月	4~6月			
生産能力拡大	36.4	40.7	32.6	49.1	31.7	33.9	28.1	35.3	32.8	21.6	31.5	22.5	25.8	23.7	26.8					
経営の多角化	18.2	5.6	6.5	3.6	9.5	5.1	3.5	2.0	9.0	13.7	5.6	19.7	16.8	12.9	17.5					
省力・合理化	18.2	25.9	23.9	18.2	23.8	18.6	15.8	21.6	20.9	17.6	14.8	15.5	14.6	11.8	12.4					
情報化	9.1	3.7	4.3	12.7	9.5	3.4	7.0	7.8	4.5	7.8	9.3	4.2	4.5	8.6	6.2					
環境改善	16.4	13.0	13.0	12.7	17.5	18.6	28.1	19.6	17.9	25.5	25.9	22.5	20.2	22.6	22.7					
その他	1.8	11.1	19.6	3.6	7.9	20.3	17.5	13.7	14.9	13.7	13.0	15.5	17.9	20.5	14.4					

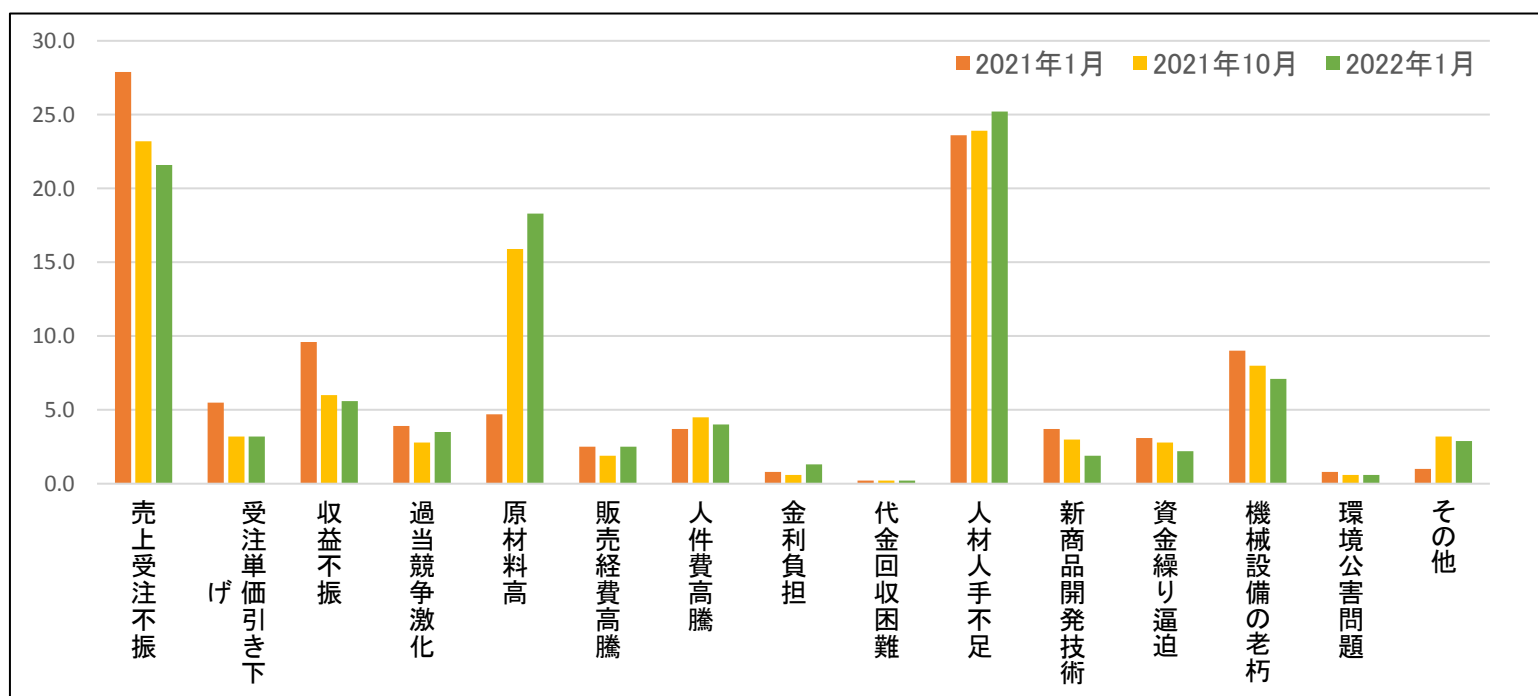


- (1) 設備投資を実施した企業は23.9%となり、前回比マイナス1.5ポイントとなっています。設備投資を実施した目的については、「生産能力拡大」が25.8%、次いで「環境改善」が20.2%と高くなっています。「環境改善」については2019年には10%前半台でしたが、近年は20%を越えており、取組みが進んでいると言えます。

VII. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	2021年1月 (前年同月)	2021年10月 (前回)	2022年1月 (今回)	2022年1月		前回比増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	27.9	23.2	21.6	(20.5)	(21.8)	-1.6
受注単価引き下げ	5.5	3.2	3.2	(3.6)	(3.1)	0.0
収益不振	9.6	6.0	5.6	(3.6)	(6.0)	-0.4
過当競争激化	3.9	2.8	3.5	(2.7)	(3.7)	0.7
原材料高	4.7	15.9	18.3	(25.0)	(16.8)	2.4
販売経費高騰	2.5	1.9	2.5	(3.6)	(2.3)	0.6
人件費高騰	3.7	4.5	4.0	(2.7)	(4.2)	-0.5
金利負担	0.8	0.6	1.3	(0.9)	(1.4)	0.7
代金回収困難	0.2	0.2	0.2	(0.0)	(0.2)	0.0
人材人手不足	23.6	23.9	25.2	(17.9)	(26.8)	1.3
新商品開発技術	3.7	3.0	1.9	(4.5)	(1.4)	-1.1
資金繰り逼迫	3.1	2.8	2.2	(0.9)	(2.5)	-0.6
機械設備の老朽	9.0	8.0	7.1	(11.6)	(6.2)	-0.9
環境公害問題	0.8	0.6	0.6	(0.9)	(0.6)	0.0
その他	1.0	3.2	2.9	(1.8)	(3.1)	-0.3



- (1) 当面の経営上の問題点として、「人材人手不足」が最も多くなっており、25.2%となっています。次いで多い「売上受注不振」については、21.6%で前回比マイナス1.6ポイントと減少傾向が続いています。
- (2) 前回調査からさらに「原材料高」の割合が増加してきており18.3%となっています。対前年比ではプラス13.6ポイント、対前回比ではプラス2.4ポイントと影響が拡大しています。